



2



3



1



1

1真剣な表情の合間にもれる笑顔2保護者や住民など多くの人が見守る中で披露した棒踊り3迫力のある太鼓を会場いっぱい響かせた太鼓踊り4太鼓や笛の音色に合わせて厳かに舞う球磨神楽



2



3



4



5

1華麗に舞うレクリエーションダンス2完成度の高い展示品がそろう会場内3真剣なまなざしで演奏する湯前中吹奏楽部4音楽にのせて軽やかなステップを刻む社交ダンス5ステージ発表の音楽に合わせて口ずさむ参加者



4

No.3

湯前町文化祭

発表、展示で心表す

第34回湯前町文化祭が11月2、3日に農村環境改善センターで開かれ、舞台発表や展示をめぐってにたくさんの方が来場しました。

文化祭は湯前町文化協会（那須清文会長）が主催し、教育委員会や熊本県文化協会、老人会や地域婦人会、青年団などの団体と人吉新聞社が後援。作品展は同2、3日の二日間、舞台発表は3日に行われました。

開会式では、那須会長が「こどもすばらしい作品がそろった。会員の皆さんの心が表れている。今日は最後まで鑑賞していただき、何かを得て帰ってもらいたい」とあいさつしました。

舞台では29種目の発表がありました。湯前保育園児の演舞で幕を開け、湯前小学校4年生が花笠音頭、湯前中学校吹奏楽部が吹奏楽と和太鼓の



小学4年生の花笠音頭を見学する大勢の観客

演奏を披露。会員は日舞や3B体操、フラダンス、社交ダンス、太極拳、民謡、カラオケなどを発表し、日ごろの練習の成果を発揮。それぞれの発表が終わるたびに会場から大きな拍手が送られていました。最後には青年団の若者7人が日舞を披露し、会場に華を添えました。

作品の展示には、写真や絵画、書道、工芸品、フラワーアレンジメントなど400点がずらりと並び、多くの来場者が見学。完成度の高さに目を丸くして感心していました。

No.4

湯前中学校文化祭

伝統で感動届ける

湯前中学校（古家慎也校長）の文化祭が11月18日に同校体育館で開かれ、全校生徒92人が伝統芸能の継承活動や演劇、合唱など学習の成果を発表し、会場に感動を届けました。

開会式では古家校長が「練習の成果を発揮して、見ている人の心が温かくなるような発表をしてほしい」、実行委員長の藤岡顕将さん（同校3年上里3）は、「一人一人が輝ける文化祭にしよう」とあいさつしました。

実行委員会によるテーマ発表のあと、オープニング映像を流して文化祭がスタート。同校で14年間取り組まれている伝統芸能の継承活動では、生徒が球磨神楽、浅鹿野棒踊り、東方組太鼓踊りをそれぞれ披露。生徒の額から流れる汗や真剣な表情は、たくさん保護者や住民を感動させま



招待された昭和38年度卒業生とともに校歌を歌った生徒たち

した。昭和38年度の卒業生も会場に駆け付け「涙が出るほど感動した」と生徒の発表をたたえました。

ステージでは、「子ども議会」や「職場体験」など総合的な学習の時間の成果を学年ごとに発表。演劇や英語暗唱、吹奏楽部の演奏、バンド、ダンス、学年対抗の合唱祭などがありました。

会場内には書道や町をPRするポスター、モザイクアート、科学展の作品、壁新聞などが展示され、生徒全員の頑張りが表れていました。